



ASAKURA

2018

7

July



- ・ 院長就任挨拶
- ・ 公開講座【水頭症】
- ・ 健診、透析センター
- ・ 乳腺センター
- ・ 学会発表(日本乳癌学会)
- ・ からだけあ
- ・ 教室、イベント案内

※ 次号の発行は 10月を予定しております

就任のご挨拶

朝倉医師会病院 院長 山田 研太郎



この度2018(平成30)年7月1日付けで朝倉医師会病院の院長を拝命いたしました。微力ではございますが久留米大学などでの経験を活かし、また医師会員の先生方をはじめとする地域の医療機関との連携を強化しながら、病院の発展のために尽力してまいりたいと思います。

本院は1984(昭和59)年に甘木朝倉医師会病院として発足し、2008(平成20)年には県立消化器医療センターを引き継いだ朝倉病院と合併して、現在の朝倉医師会病院がスタートしました。当初よりかかりつけ医との一貫継続した医療をめざした開放型病院であり、救急医療や地域住民の健康管理にも貢献してまいりました。

本格的な高齢化社会を迎え、医療費の削減や医師不足など病院を取り巻く環境は厳しく、課題は山積しておりますが、全職員で力を合わせ知恵を出し合いながら、全力で取り組む所存です。まずは診療体制の充実を図るため、各診療科の充実はもとより、透析・健診センターの新設に着手しております。糖尿病センターや乳腺センター、外来化学療法センターなどの医療センターは、チーム医療の推進に直結しており、地域完結型医療を実現させ、地域支援病院として地域住民の健康増進、疾病予防に貢献できるものと確信しています。さらに、団塊の世代が75歳を越える2025年も遠くはありません。超高齢化社会の到来を見据えた医療と介護の連携と、地域医療構想の推進に向けた体制づくりにも注力してまいります。

初代院長で医師会会長でもあった富田三郎先生は、病院のあるべき姿として三つのことを挙げられました。医師会病院があってよかったと医師会員が喜び、医師会病院なら安心してみてもらえると地域の住民から頼られ、医師会病院に勤めてよかったと職員が思うような病院です。私もこの理念を引き継ぎ、職員と共に「信頼され愛される病院」を目指してまいります。今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

水頭症という病気

【共催】・朝倉医師会病院
・いきいき健康クラブ



超高齢化社会に突入し、認知症患者の増加が社会問題となっているなか、当院では「改善する認知症」として取り上げられている突発性正常圧水頭症(idiopathic normal pressure hydrocephalus; iNPH)の診療に注力しています。

今回、朝倉市「いきいき健康クラブ」との共催で「卑弥呼の湯」にて正常圧水頭症についてより多くの方々に知ってもらうことを目的に公開講座を開講しました。

講演では、当院脳神経外科部長の大浅 貴朗おおあさ たかおより正常圧水頭症という病気の症状や治療についてわかりやすい言葉で解説し、この病気のことを「知ってもらう」ことが出来たのではないかと思います。



正常圧水頭症の主な症状

歩行障害

認知機能障害

排尿障害



- ・小刻み
- ・すり足
- ・開脚



- ・自発性・意欲の低下
- ・集中力・作業速度の低下
- ・記名力障害



- ・頻尿
- ・尿意切迫
- ・尿失禁

気になる症状ありませんか？

水頭症とパーキンソン病の歩き方の違い



講演後、当院リハビリテーション科の職員による簡単な体操もしました。

講演は、大変好評をいただき、参加者の皆さんの関心の高さを実感できました。今後も継続して、このような講座を開催できればと考えております。

当院は、朝倉・うきは・三井地域の広域中核病院として地域医療に貢献すべく、公益性を最優先に日々医療事業に取り組んでおります。

この度、これまで以上に充実した急性期医療の提供と疾病予防への更なる貢献をめざして、透析・健診センターを増築することとなりました。

【透析センター】

急性期医療体制の構築と災害拠点病院である当院の役割として、人工透析施設を新設し、有事の際にも朝倉医療圏内の急性期患者、特に透析患者を受け入れられる体制づくりをめざします。



透析・健診センター ついに始動

来春 完成予定

【健診センター】

健診受診者数の増加に伴い、設備面などで多大なご迷惑をおかけしている現状を踏まえ、地域住民の健康増進、疾病予防に努めることは急務であり、がんをはじめとする重大疾病の早期発見・早期治療に貢献できると確信しております。

「乳腺センター」

をご存知ですか？

～ 乳腺センター長からご挨拶 ～



乳がんかも？と不安になった時、
受診できるところがわかりやすいように
乳腺センターをつくりました。
乳腺チームであなたの不安を解消します。
お気軽に受診してください。

乳腺検査は
私たちに
お任せください！



女性検査技師

～ たとえば こんな時 ～

- ・乳房にしこりや痛みがある
- ・乳頭から分泌物がある
- ・乳房の皮膚に変化がある
- ・乳がん検診で要精密検査となった

～ 診察スケジュール ～

	月	火	水	木	金	土
午前	×	○	×	○	○	第2○
午後	○	×	○	×	×	×

- ※お電話にてご予約ください
- ※検査は女性スタッフが担当します
- ※紹介状をお持ちください

【乳腺センター】

外来予約受付:0946-23-0077

乳がん検診のご案内

* 当院健診科で受診可能な乳がん検診 *

- ◆ 乳がんセット検診
 - ・マンモグラフィ検査
 - ・乳腺超音波検査
- ◆ 協会けんぽ乳がん検診
- ◆ 朝倉市乳がん検診
- ◆ 県内市町村無料クーポン
- ◆ ピンクリボンDAY
 - ・毎年10月第3日曜午前中

- ※ 対 象：自覚症状がない方
- ※ 平 日：午前、午後
- 土曜日：午前
- ※ クーポンは使用条件等をご確認ください

【乳がん検診お問合せ】

健診科直通:0946-28-7067

2018年
10月21日
日は...



日曜日に

乳がん検査を受けられる日です



日本乳癌学会学術総会に参加して

外来化学療法センター
がん化学療法看護認定看護師 川上 理絵



5月16日～18日の3日間、京都で行われた日本乳癌学会学術総会で、「多職種が介入したことで集学的治療ができ長期生存が得られたStage IV乳癌の1例」という題名で口演発表をさせていただきました。以下に抄録を示します。

【はじめに】

初診時に骨転移があるstage IVの乳癌患者に対し、多職種介入をしたことで集学的治療が行え長期生存が得られた1例を経験した。患者は若い女性で当初治療を拒否していたが、多職種介入による心理的サポートを加えたことで治療を受け入れ、多職種による心理的サポートの在り方も含め報告する。

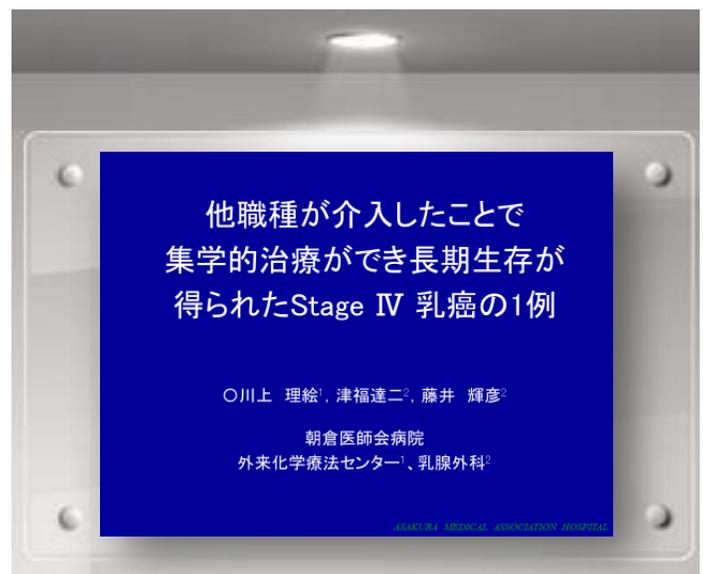
【症例】

30代女性。6年半前に頸部痛が出現し諸検査の結果、左乳癌、頸椎転移と診断し（T4N1M1、Stage IV、ER(+)、PgR(+)、HER2(-)）、頸椎転移に対して放射線療法を施行した。化学療法を勧めたが治療を拒否し、本人の強い希望で民間療法を選択されたが、その4か月後には症状は増悪。歩行困難、呼吸困難が出現し、多発骨転移、肺転移、癌性リンパ管症と診断された。再度化学療法を勧めたが、副作用に対する恐怖感が強く拒否された。その後、看護師・臨床心理士・精神科医・緩和ケアチームによる心理的サポートを加えながら時間をかけ治療について何度も説明した結果、化学療法を受け入れられTC（タキソテール+エンドキサン）療法を開始した。腫瘍は縮小しPRとなったため局所コントロールのために左乳房切除+腋窩リンパ節郭清+植皮術を施行した。治療開始時には多発骨転移のため歩行困難であったが、治療開始後徐々に疼痛が緩和し、リハビリも積極的に行い自力で歩行が可能となった。その後も化学療法やホルモン療法を継続していたが、脳転移を来して開頭腫瘍摘出術+全脳照射を施行された。

脳転移に対する治療後にも大きな後遺症もなく、現在も外来で化学療法を継続している。治療開始時は化学療法に対する拒否的な言動が聞かれたが、治療を受け入れたことで自力で歩けるようになり、日々の生活を楽しむことが出来るようになったため、今では積極的な治療を希望されている。

【結語】

Stage IV乳癌に対して集学的治療を行うことにより長期生存が得られた1例を経験した。化学療法に対する恐怖心から治療を拒否していたが、多職種による心理的サポートを加えることにより、治療を開始することが可能となった。有害事象は軽度であり、治療は継続可能で歩行困難であった状態から歩行可能となり、QOLの著明な改善がみられた。化学療法を拒否している患者に対しては医師からの治療成績、副作用などの説明のみならず、多職種による心理的サポートも重要であると考えられた。



からだ けあ

②

リハビリテーション科



背中が曲がりやすくなることにより、うまくバランスをとることができなくなります。

足の指に対するトレーニングを行うことで、姿勢のバランスが崩れたときにしっかり床面を踏みしめ、耐えることができるようになります。効果があります。



転倒予防

転倒の経験者は、歩く速さが遅い、歩幅が短い、小刻み歩きになる傾向があると報告されています。これらの問題の原因の一つとして、姿勢バランスが大きく関係しています。姿勢の中でも、特に大勢の方が加齢による筋力低下や骨粗鬆症により背骨に変形が生じ、背中が曲がりやすくなることを気にされています。今回は姿勢に対する運動や生活指導、足趾把持トレーニングについて紹介します。



円背予防

背中中の運動：背中が曲がらないように注意し、手の上げ下げを行ないます



壁の前などで行うと背中に意識が集中しやすいです！

日常生活でできること



手に荷物はできるだけ持たないようにする。例えばリュックサックならば、鞆の重さにバランスを取ろうとするため、背中のエクササイズとしても効果的です。

足趾把持 トレーニング

乾電池つかみ：単3または単4の乾電池を足の指でつかみます



タオルギャザー：足首を動かさずに、足の指だけでタオルをたくり寄せましょう



※簡単に運動ができるようになったら、タオルを濡らしたり重りを置いたりすると難しくなります



乾電池だけでなくお手玉やビー玉などでも挑戦してみましょう。やわらかい物や硬い物、大きい物や小さい物など、色々な刺激を足の裏や指に与えることで、より効果的なトレーニングになります。

第24回 朝倉医師会病院「糖尿病セミナー」開催のご案内

日時	平成30年7月31日(火) 18:00～19:30	製品説明	18:05～ 「持効型インスリン製剤 ランタスXR注 ソロスター」サノフィ株式会社
会場	朝倉医師会病院 2階 研修ホール	講演	18:20～19:30 座長：朝倉医師会病院 院長 糖尿センター長 山田 研太郎 先生
対象	糖尿病に興味をお持ち の全ての医療関係者		「インスリンポンプとカーボカウント」 演者：久留米大学内科学講座 内分泌代謝内科部門 中山 ひとみ 先生

※筑後糖尿病療養指導士 認定単位 1
※日本医師会生涯教育講座 1単位
カリキュラムコード【7】【28】

教室・イベントのご案内

<お問合せ>
朝倉医師会病院
0946-23-0077

○糖尿病教室			
時間	15:30～16:30	場所	2階 予防教室
内容	月:糖尿病と検査,運動 臨床検査技師・理学療法士 火:糖尿病と薬,ケア 看護師・薬剤師 水:糖尿病とは 医師 木・金:糖尿病と食事 管理栄養士		

○肝臓病教室	
時間	15:00～16:00
場所	2階 予防教室
内容	肝臓病と食事

○高血圧教室	
時間	15:00～
場所	2階 予防教室
内容	・高血圧とは ・ケア,薬について

○～ココロ生活を送る ための～減塩勉強会	
時間	15:00～16:00
場所	2階 予防教室
内容	高血圧と食事

○がんサロン 特別編(8/24)	
時間	受付 13:45～ 開始 14:00～
場所	2階 研修ホール
テーマ	家庭でできる簡単お好み食 めざせ体力UP!
対象	がん患者さんと そのご家族
※当院受診者以外でもお気軽に ご参加ください ※予約不要(途中参加・退出可)	
がん相談支援センター	

○住民公開講座(9/22)	
時間	開場13:00 開演14:00
場所	2階 研修ホール
テーマ	生活習慣とがん

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※がんサロン、住民公開講座以外のお問合せ・申し込みは栄養管理科 管理栄養士まで

一般社団法人 朝倉医師会

 朝倉医師会病院

ASAKURA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

〒838-0069 福岡県朝倉市来春422-1

TEL 0946-23-0077

FAX 0946-23-0076

URL <http://www.asakura-med.or.jp/hospital>

朝倉医師会病院ニュース

ASAKURA 7月号

発行：朝倉医師会病院 経営企画課

発行日：平成30年7月